

第2回 府中・多摩編一開催報告

今回2回目となる、多摩川ふれあい点検は、平成17年9月10日(土)、京浜河川事務所・府中市・多摩市の主催により、多摩川中流付近である石田大橋～府中四谷橋付近～関戸橋までの約5kmを市民と行政が一緒になって現地を歩き、平成13年3月に策定された「多摩川水系河川整備計画」に記載されている事業実施箇所を点検し、ご意見を頂きました。

ふれあい点検当日は、東京で最高気温が31.0度を示す暑い中、市民のみなさんと行政を合わせて約20名(うち市民が約5名)に参加して頂きました。

午後1時、集合場所の「石田大橋」の左岸側(東京都国立市)で、京浜河川事務所調査課長・藤田の開催挨拶に引き続き、オリエンテーションを行い、点検に出発しました。



今回は主に(1)平成13年に被災し堰の撤去などを優先に整備した石田大橋下流の四谷本宿床止(旧四谷本宿堰)、(2)洗掘防止と礫河原の復元を目的とした府中四谷橋下流の河道整正、(3)堤防侵食集中対策を平成17(2004)年3月に終えた(多摩川堤防侵食集中対策)関戸橋上流の護岸整備状況の3箇所について点検を行いました。



点検の際には、チェックシートを使用し、3箇所の整備の目的や効果について、京浜河川事務所調査課(計画係長)米沢からご説明致しました。

点検後には、多摩市の「関戸・一ノ宮コミュニティセンター」でワークショップ形式の意見交換会を行いました。

コーディネーターの倉持武彦さん(多摩川流域ネットワーク)が参加者のご意見を付箋紙に書き、今回歩いた点検範囲のマップに貼り付け、参加者全員で確認しました。

今回のふれあい点検では、治水、環境、利用などについて様々なご意見をいただき、多摩川への関心の高さや、よりよい川づくりへの真摯な思いを強く感じる事ができました。

今回のご意見と、9月3日に行った「[第1回多摩川ふれあい点検 ～浅川編～](#)」でいただいた意見を合わせ、10月1日(土)開催「[第19回多摩川流域セミナー](#)」で報告する予定です。

